

労働者協同組合法
成立記念作品

人は人のために働いて
支え合い、
人のために死ぬ。
結局はそれ以上でも
それ以下でもない。

これは人間の仕事である。

大田区後援(上映会)



中村哲は問う——“働く”とは何か、“仕事”とは何か、そして“平和”とは!

2/21(金)

会場:大田区民プラザ

(大ホール)

19:00~

3/9(日)

会場:スマイル大森

(大森北区民活動施設)多目的室(大)

10:00~

3/15(土)

会場:池上会館

集会室

14:00~

医師中村哲の 仕事・働く ということ

語り◎室井滋 朗読◎塚本晋也

写真・映像提供◎ベシワール会/PM S

企画・提供◎日本労働者協同組合(ワーカーズユニオン)連合会センター事業団

一般社団法人 日本社会連帯機構

製作◎日本電波ニュース社 HD/16:9/カラー/47分





アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり、
活動を続けた男がいた。

医師中村哲の
仕事・働く
ということ

「長期にわたって中村さんに密着した映像は、中村さんとの信頼の証だ。中村さんは無念の死を遂げたが、この中に生きている。」
上野千鶴子氏（社会学者、東京大学名誉教授）

1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒労である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。
親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。
中村医師は言う「これは人間の仕事である」



2/21(金)19:00～ 大田区民プラザ(大ホール)
3/9 (日)10:00～ スマイル大森(大森北区民活動施設)多目的室(大)
3/15(土)14:00～ 池上会館(集会室)
*各回 30分前より受付/開場 *各定員 300名(先着順)

大田区民プラザ:大田区下丸子3-1-3 *東急多摩川線「下丸子駅」下車 駅前 東急池上線「千鳥町駅」下車 徒歩7分
スマイル大森:大田区大森北四丁目6番7号 *入新井第一小学校に併設された複合施設
池上会館:大田区池上1丁目32-8 *JR京浜東北線「蒲田駅」から東急線蒲田駅で東急池上線へ乗り換え、池上駅下車で徒歩約15分

料金:一般 1,000円 学生 500円 障がい者・高校生以下無料

各回上映(47分)後、関係者によるアフタートーク「中村医師の生き方・働き方、労働者協同組合法から考える地域づくり」を予定

【申込方法】下記にご記入しFAX(03-3768-1315)またはQRコードよりお申し込みください
【問い合わせ(ワーカーズコープ)】03-5767-6517 【受付時間】平日:10:00-17:00

お名前(代表者)	参加日時	□2/21(19:00) □3/9(10:00) □3/15(14:00)	
電話番号	mail	@	
参加人数	一般()名、学生()名、障がい者・高校生以下()名		



【主催】大田ポールdeウォーク推進協議会 【共催】ワーカーズコープ東京南部事業本部、一般社団法人しんきん成年後見サポート、一般社団法人日本社会連帯機構、一般社団法人木谷ウォーキング研究所 【後援】大田区、大田区社会福祉協議会、大田区自治会連合会、大田区シニアクラブ連合会、大田区スポーツ協会、大森工場協会、一般社団法人ポールdeウォーク推進協議会 【協賛】城南信用金庫